

## 大学院教育学研究科のあり方に関する調査

### 教職大学院生〔修了直前〕アンケート（2023年度）集計結果

信州大学教育学部 自己点検・評価委員会

#### コース・プログラム・進路予定

##### A. コース等

	教職基盤形成コース	高度教職開発コース (附属学校園在籍)	高度教職開発コース (公立学校在籍)
2023年度	53.33%	20.00%	26.67%
2022年度	51.61%	22.58%	25.81%
2021年度	48.39%	25.81%	25.81%
2020年度	23.53%	35.29%	41.18%
2019年度	25.00%	40.00%	35.00%
2018年度	16.67%	58.33%	25.00%

##### B. プログラム

##### ※2021年度新設

	教育課題探究プログラム	教科授業力高度化プログラム	特別支援教育高度化プログラム
2023年度	53.33%	33.33%	13.33%
2022年度	45.16%	51.61%	3.23%
2021年度	32.26%	58.06%	9.68%

##### C. 進路予定

	学校教員 (新規に 正規採用)	学校教員 (新規に 臨時採用)	学校教員 (正規採用 を継続)	教育行政 機関 (教育委員 会等)	高等教育 機関 (大学、短大、 高専等)	その他 教育関係 職	公務員	民間企業	進学	その他
2023年度	33.33%	13.33%	40.00%	0.00%	3.33%	3.33%	0.00%	3.33%	0.00%	3.33%
2022年度	45.16%	3.23%	48.39%	0.00%	0.00%	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
2021年度	38.71%	6.45%	48.39%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	0.00%	0.00%
2020年度	29.41%	0.00%	70.59%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
2019年度	20.00%	5.00%	65.00%	0.00%	0.00%	5.00%	0.00%	0.00%	0.00%	5.00%
2018年度	16.67%	0.00%	75.00%	8.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

「その他」と回答した場合には、ご記入ください。

・現在、地方公務員として働いており、来年度も勤務予定です。

**Q 1. 教育学部・教育学研究科の教育研究について ※新規項目**

信州大学教育学部では、教育養成の伝統と実績を踏まえ、「臨床の知」の理念のもとに、次の目標を掲げて教育研究を行なっています。

- ・ 高度な専門知識と実践的な教育技術を身につけ、豊かな教養と創造性に溢れた教育者を育成します。
- ・ 附属学校園を積極的に活用し、新たなカリキュラムや教材の開発、指導法の工夫など教育現場に役立つ教育研究を推進します。
- ・ 教育委員会や地域の諸学校と連携し、不登校や学力問題など多様な教育課題に対応し、専門的な支援を行います。
- ・ 地域社会の要請に応えるため、生涯教育、リフレッシュ教育、現職教育等を充実させ、開かれた教育・研究体制を構築します。

現在の信州大学教育学部・教育学研究科は、これらの目標の達成に向けた教育研究を行っていると思いますか。

A. 高度な専門知識と実践的な教育技術を身につけ、豊かな教養と創造性に溢れた教育者を育成している。	2023 年度	90.00%	10.00%	0.00%	0.00%
		そう思う	やや そう思う	やや そう思わない	そう 思わない
B. 附属学校園を積極的に活用し、新たなカリキュラムや教材の開発、指導法の工夫など教育現場に役立つ教育研究を推進している。	2023 年度	80.00%	20.00%	0.00%	0.00%
		そう思う	やや そう思う	やや そう思わない	そう 思わない
C. 教育委員会や地域の諸学校と連携し、不登校や学力問題など多様な教育課題に対応し、専門的な支援を行っている。	2023 年度	66.67%	26.67%	6.67%	0.00%
		そう思う	やや そう思う	やや そう思わない	そう 思わない
D. 地域社会の要請に応えるため、生涯教育、リフレッシュ教育、現職教育等を充実させ、開かれた教育・研究体制を構築している。	2023 年度	73.33%	20.00%	6.67%	0.00%
		そう思う	やや そう思う	やや そう思わない	そう 思わない

## Q2. 教育学研究科学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の達成度について

信州大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）は、「俯瞰力と独創性を備え、持続可能な価値社会を創造する質の高い高度専門職業人」の育成という信州大学大学院学位授与の方針の理念にのっとり、学校と家庭・地域社会の創造的な再構築の担い手として、次世代の人材を育成する資質と能力を備えた教員の養成を期し、以下のように学位授与方針を定めています。

- ・教育の専門職としての学識・技能
- ・教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点
- ・子どもの多様なニーズへの対応力
- ・協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力
- ・既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力
- ・社会の一員である教員として生きる意志と倫理観

あなたは、教職大学院で受けた教育により、これらの資質と能力を培い、身につけることができたと思いますか。

### ※2022年度C. を追加。2023年度から選択肢を変更

#### ◇2022年度までの設問

高度教職実践専攻では、学校と家庭・地域社会の創造的な再構築の担い手として、次世代の人材を育成する教員の養成を期し、次の資質・能力を有する者に「教職修士（専門職）」の学位を授与することとしています。現時点での各資質・能力について、5段階で自己評価してください。

#### A. 教育の専門職としての学識・技能

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
2023年度	56.67%	40.00%	3.33%	0.00%	0.00%
	十分に 達成	ほぼ達成	半分程度 達成	一部達成	全く達成 できない
2022年度	16.13%	54.84%	29.03%	0.00%	0.00%
2021年度	16.13%	51.61%	25.81%	6.45%	0.00%
2020年度	23.53%	29.41%	47.06%	0.00%	0.00%
2019年度	10.00%	40.00%	40.00%	10.00%	0.00%
2018年度	0.00%	33.33%	41.67%	16.67%	8.33%

#### B. 教育現場の諸課題の背景にある 関係構造に気づく視点

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
2023年度	63.33%	36.67%	0.00%	0.00%	0.00%
	十分に 達成	ほぼ達成	半分程度 達成	一部達成	全く達成 できない
2022年度	22.58%	48.39%	22.58%	6.45%	0.00%
2021年度	16.13%	51.61%	25.81%	6.45%	0.00%
2020年度	29.41%	41.18%	23.53%	5.88%	0.00%
2019年度	10.00%	65.00%	15.00%	10.00%	0.00%
2018年度	8.33%	33.33%	41.67%	16.67%	0.00%

#### C. 子どもの多様なニーズへの 対応力

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
2023年度	66.67%	30.00%	3.33%	0.00%	0.00%
	十分に 達成	ほぼ達成	半分程度 達成	一部達成	全く達成 できない
2022年度	19.35%	45.16%	25.81%	9.68%	0.00%

D. 協働的な問題解決を可能にする  
人間関係構築力

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
2023年度	56.67%	36.67%	6.67%	0.00%	0.00%
	十分に 達成	ほぼ達成	半分程度 達成	一部達成	全く達成 できない
2022年度	29.03%	51.61%	19.35%	0.00%	0.00%
2021年度	22.58%	58.06%	12.90%	6.45%	0.00%
2020年度	52.94%	23.53%	17.65%	5.88%	0.00%
2019年度	10.00%	70.00%	10.00%	10.00%	0.00%
2018年度	25.00%	33.33%	33.33%	8.33%	0.00%

E. 既存の枠組みを超える柔軟な  
発想力と深い省察力

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
2023年度	53.33%	40.00%	3.33%	3.33%	0.00%
	十分に 達成	ほぼ達成	半分程度 達成	一部達成	全く達成 できない
2022年度	22.58%	48.39%	25.81%	3.23%	0.00%
2021年度	22.58%	45.16%	22.58%	9.68%	0.00%
2020年度	35.29%	35.29%	23.53%	5.88%	0.00%
2019年度	25.00%	40.00%	25.00%	10.00%	0.00%
2018年度	8.33%	25.00%	66.67%	18.75%	0.00%

F. 社会の一員である教員として  
生きる意志と倫理観

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
2023年度	66.67%	30.00%	3.33%	0.00%	0.00%
	十分に 達成	ほぼ達成	半分程度 達成	一部達成	全く達成 できない
2022年度	41.94%	51.61%	6.45%	0.00%	0.00%
2021年度	38.71%	38.71%	19.35%	3.23%	0.00%
2020年度	29.41%	52.94%	11.76%	5.88%	0.00%
2019年度	15.00%	60.00%	15.00%	10.00%	0.00%
2018年度	8.33%	33.33%	58.33%	18.75%	0.00%

### Q3. 高度教職実践専攻（教職大学院）の特色や授業科目等について

次の項目について、あなたの満足度をおたずねします。

※2021 年度新設

#### A. 学校拠点方式

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	56.67%	33.33%	6.67%	3.33%
2022 年度	64.52%	32.26%	3.23%	0.00%
2021 年度	54.84%	35.48%	9.68%	0.00%

#### B. 専門性の異なる複数教員による指導体制

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	80.00%	20.00%	0.00%	0.00%
2022 年度	61.29%	35.48%	3.23%	0.00%
2021 年度	67.74%	19.35%	12.90%	0.00%

#### C. 様々な背景を持った院生とのチーム演習

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	66.67%	20.00%	13.33%	0.00%
2022 年度	74.19%	19.35%	6.45%	0.00%
2021 年度	61.29%	32.26%	6.45%	0.00%

#### D. 履修選択プログラム制による履修制度

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	76.67%	20.00%	3.33%	0.00%
2022 年度	61.29%	35.48%	3.23%	0.00%
2021 年度	61.29%	32.26%	0.00%	6.45%

#### E. 集中講義（土日や長期休業期間中）の開講体制

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	53.33%	40.00%	0.00%	6.67%
2022 年度	48.39%	48.39%	3.23%	0.00%
2021 年度	41.94%	41.94%	9.68%	6.45%

#### F. 必修科目（共通 5 領域） ※「特色ある教育課程の編成と評価」「授業研究と教育評価」「特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制」「学級づくりと学校づくり」「未来の学校と期待される教師 I・II」

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	73.33%	26.67%	0.00%	0.00%
2022 年度	74.19%	25.81%	0.00%	0.00%
2021 年度	74.19%	25.81%	0.00%	0.00%

#### G. プログラム科目

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	76.67%	16.67%	3.33%	3.33%
2022 年度	61.29%	32.26%	6.45%	0.00%
2021 年度	67.74%	32.26%	0.00%	0.00%

#### H. 学校実習科目

	充分満足	やや満足	やや不満足	不満足
2023 年度	73.33%	23.33%	0.00%	3.33%
2022 年度	64.52%	35.48%	0.00%	0.00%
2021 年度	67.74%	22.58%	9.68%	0.00%

**Q 4. 大学院入学後に、次のものを使用・実施しましたか**

※2021 年度新設

※2022 年度までは、学部卒院生または現職教員院生のみ回答のため、100%になりません。

＜学部卒院生のみ回答してください＞（A～D）

A. 就職相談室（中校舎1階）

	利用したことがある	利用したことがない	大学院入学前に教員採用試験に合格していたため利用の必要がなかった
2023 年度	6.25%	62.50%	31.25%
2022 年度	3.23%	22.58%	22.58%
2021 年度	9.68%	38.71%	9.68%

B. 教員採用試験に向けて大学が実施している面接練習

	利用したことがある	利用したことがない	大学院入学前に教員採用試験に合格していたため利用の必要がなかった
2023 年度	37.50%	31.25%	31.25%
2022 年度	9.68%	16.13%	22.58%
2021 年度	25.81%	22.58%	12.90%

C. 担当教員や現職教員院生等による面接練習

	利用したことがある	利用したことがない	大学院入学前に教員採用試験に合格していたため利用の必要がなかった
2023 年度	37.50%	31.25%	31.25%
2022 年度	3.23%	22.58%	22.58%
2021 年度	16.13%	29.03%	9.68%

D. 担当教員等による修了後のキャリアに関する相談

	相談したことがある（のべ1時間以上）	相談したことがある（のべ1時間未満）	相談したことがない
2023 年度	56.25%	18.75%	20.00%
2022 年度	15.00%	5.00%	50.00%
2021 年度	5.00%	25.00%	30.00%

＜現職教員院生のみ回答してください＞（E）

E. 担当教員等による修了後のキャリアに関する相談

	相談したことがある（のべ1時間以上）	相談したことがある（のべ1時間未満）	相談したことがない
2023 年度	14.29%	14.29%	71.43%
2022 年度	3.23%	6.45%	45.16%
2021 年度	6.45%	9.68%	45.16%